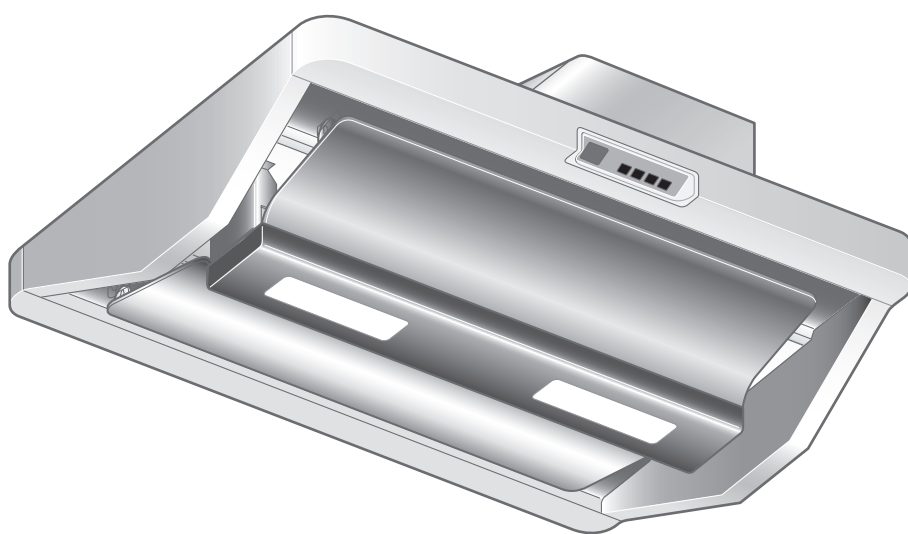


レンジフードファン

ツインフラットシリーズ

取扱説明書



イラストはサイドフード（壁面取付タイプ）

も く じ

安全上のご注意	2～4
使用上のお願い	5～6
使いかた	7～9
各部のなまえ	7
操作スイッチ	8
お手入れのしかた	10～17
分解・組み立てのしかた	11
ランプ交換のしかた	14
ファンのお手入れのしかた	15
故障かなと思ったら	18
仕様	19
アフターサービス	19

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は施工後、
施主様へ必ずお渡しください。

このたびは弊社のレンジフードをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例



○ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

安全上のご注意

警告

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造しないこと

発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

※ ただし、お手入れの際には P. 10～17 の手順に従って行ってください。



分解・修理
改造禁止

- 電気部品は、水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと

発火したり感電することがあります。



水かけ禁止

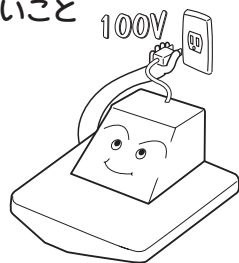


- 交流 100 V 以外では使用しないこと

火災の原因になります。



使用禁止



- お手入れや電球交換の際は、レンジフードの運転を停止し、照明を消す。次に必ずスイッチをロックするか、分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）。

その際、ぬれた手で「入/切」しないこと。

感電やけがをすることがあります。

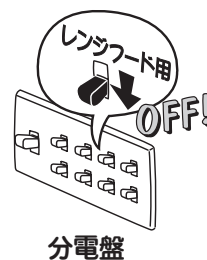


電源を切る

本体の操作スイッチ



3秒以上!



分電盤

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと

火災の原因になります。



ほこりをとる

- ガス漏れのと看、スイッチを切/入しないこと

ガス爆発の原因になります。



操作禁止

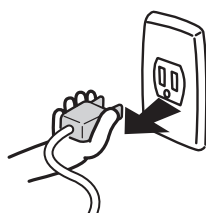
注意

- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと

コードに傷が付き、火災や感電の原因になります。



プラグを
抜く

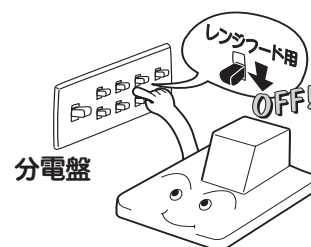


- 長時間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



プラグを
抜く



分電盤

安全上のご注意

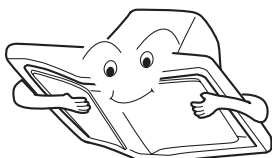
⚠ 注 意

- お手入れの際に、はずした羽根や部品の取り付けは確実にすること

落下によりけがをすることがあります。



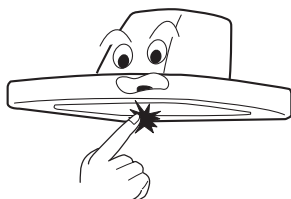
取付注意



- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。



接触禁止

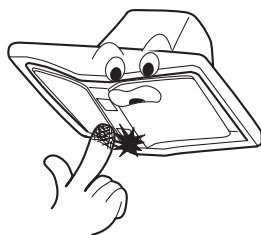


- ランプカバーおよびその周辺には、手を触れないこと

高温になるため、やけどをすることがあります。



接触禁止

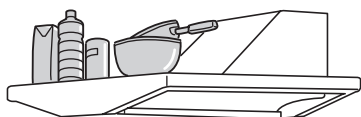


- レンジフードの上に物を置かないこと

落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります。



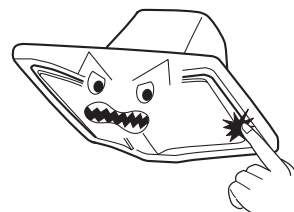
禁止



- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをしたり、故障の原因となります。



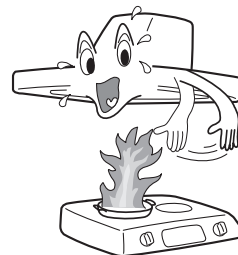
接触禁止



- 調理中、油に火がついたときは運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です。



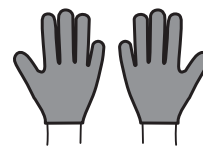
運転停止



- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



手袋をする



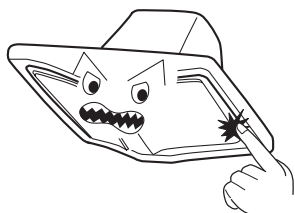
使用上のお願い

⚠ 注意

- 運転中は指や物を絶対にいれないこと
けがをすることがあります。



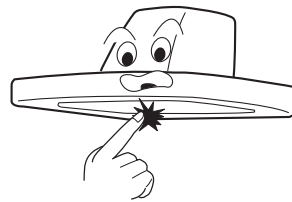
接触禁止



- 運転中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります。



接触禁止



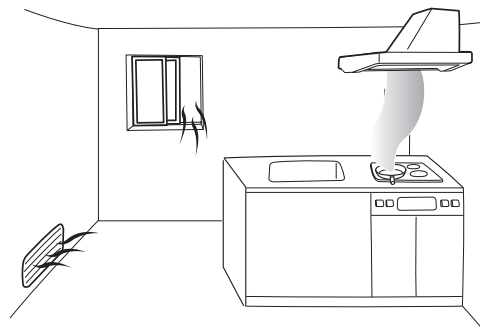
- 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードを
運転してください。

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

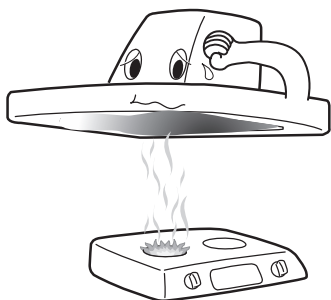


- 運転中は給気を行ってください。

レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気を取り入れが不十分ですと換気性能が低下したり、レンジフードに異音・振動が発生する場合があります。

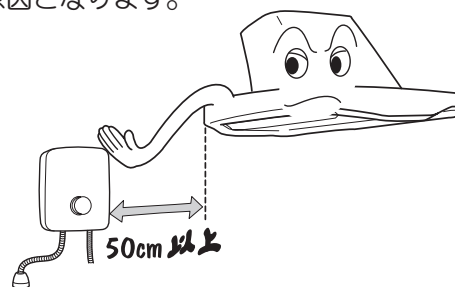


- 調理器具の空焚きは絶対にしないでください。
製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



- 湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。
ガス湯沸器周辺はかなり高温になるので50cm以上離してください。

湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取り付けないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

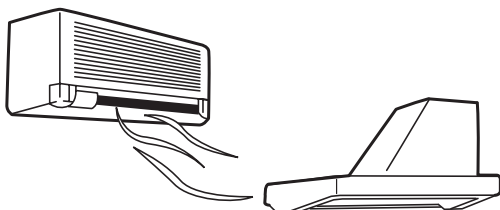


使用上のお願い

- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります。レンジフード近辺の扉や窓から横風等の影響がないようにしてください。

- エアコンの風が直接あたらないようにしてください。

風を受けると、吸い込みが悪くなります。オープンな場所では特にフードから漏れやすくなります。

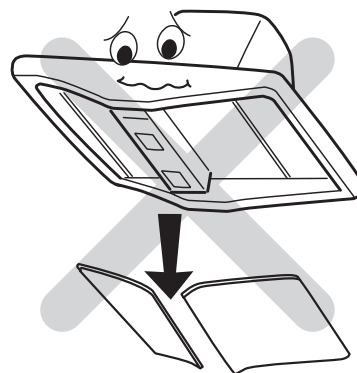


- キッチンの気温が低いときに使用された場合にはレンジフードの表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください。

- IHクッキングヒーター（電気コンロ）使用時、フードがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。結露した水滴はセンターカバーの整流板受け部にたまりますが、一杯になる前に水を捨ててください。

水を捨てないと、あふれてセンターカバー取り外しのときにこぼれる原因となります。特に冬季など気温の低い状況では結露水がたまりやすくなりますのでご注意ください。

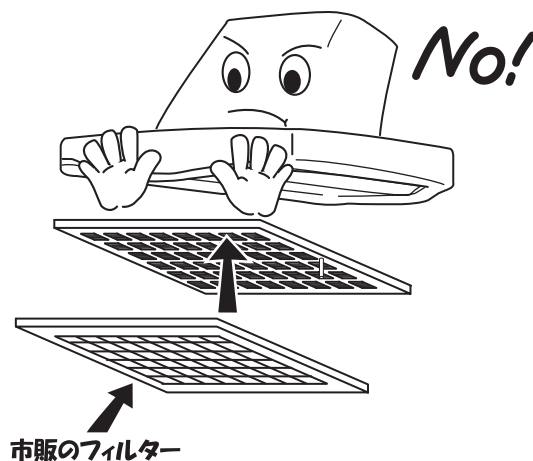
- 整流板をはずして使用しないでください。吸い込みが悪くなります。



- フィルターに市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

ご注意

- 性能を維持するため、専用のフィルターをご使用ください。



- 調理中、油に火がついたときは、運転を停止してください。

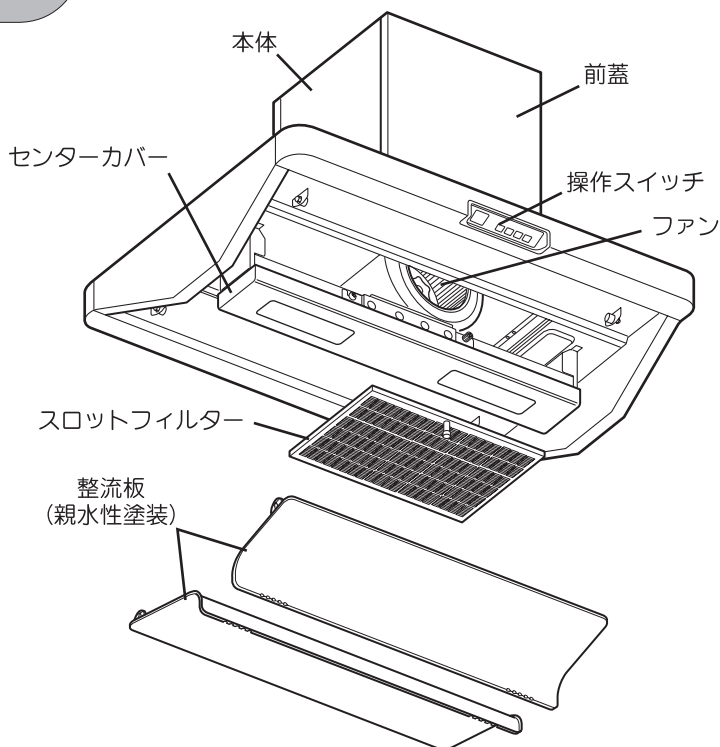
レンジフードが動作していると火の勢いがよけいに強くなります。

使いかた

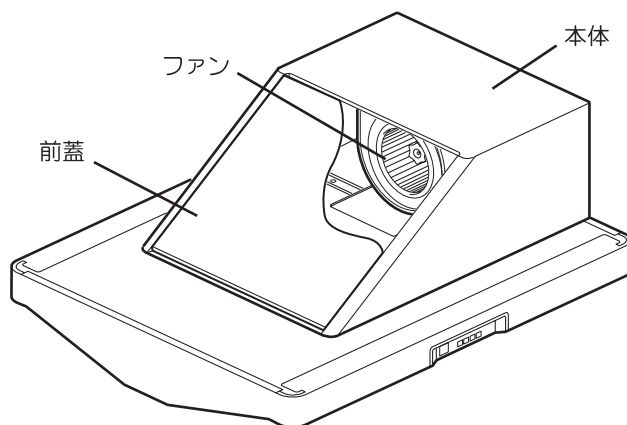
各部のなまえ

(モデルにより本体のデザインが異なります。)

センターフード (天井取付タイプ)



サイドフード (壁面取付タイプ)



親水性塗装処理について

- 整流板に親水性塗装処理を行っており、油污れが取り易くなっています。

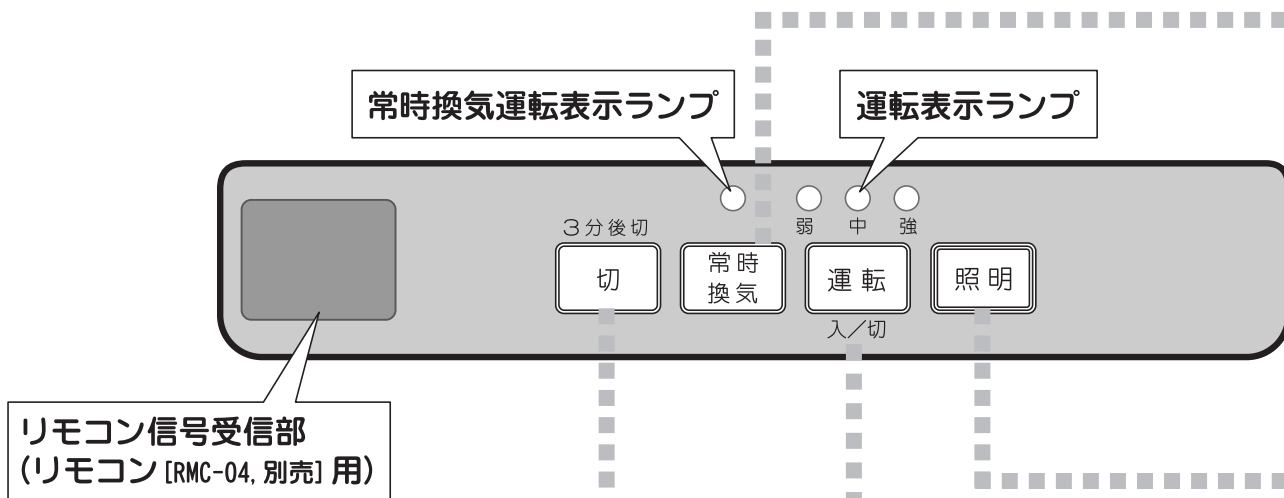
お願い

- 油污れの取り易い親水性塗装処理の効果を生かすには、早期の掃除（1ヶ月以内）が必要です。
- 長時間放置すると、十分な効果を発揮しません。
- 整流板に多量の油が付着した場合は、その都度拭き掃除してください。その際、整流板は必ず片手で支えながら掃除してください。
- 整流板を変形させると、コーティングがはがれ、親水性塗装処理の効果が得られないおそれがあります。
- 金属たわしなどの固いものは、処理面を傷つけますので、使用しないでください。

使いかた

操作スイッチ

* レンジフードの操作は別売リモコンスイッチ（品番：RMC-04）でもご使用になれます。（リモコンスイッチでは常時換気の設定／解除はできません）



3分後切



3分後切スイッチ

通常、調理が終わった後は、^{3分後切}「切」スイッチを押してください。そのままの風量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します。3分間のタイマー運転により、調理の後の臭いやファンについた油汚れなどを落とします。

※ 常時換気モードが設定されている場合は、3分後に常時換気運転に切替ります。

※ 照明は消えません。照明スイッチを押すと消えます。

● スwitchの「ロック」(操作機能全てが「切」状態になります)

この操作は本体のお手入れやランプ交換の際には必ず行ってください。

^{3分後切}「切」スイッチを約3秒間押し続けると「ピー」と音が鳴り、スイッチがロックされ、ファンは停止し、照明も消灯されます。この状態で、「切」以外のスイッチを押しても「ピピッ」と警告音が鳴り、ファン・照明は作動しません。

「ロック」を解除するには、もう一度「ピー」と音がするまで ^{3分後切}「切」スイッチを約3秒間押し続けます。ロック解除後は、必要に応じて常時換気、照明、運転・風量切替スイッチを再操作してください。

※ ロック操作は調理を終え、レンジフードが十分冷めた状態で行ってください。

※ 停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックは解除されます。

常時
換気

常時換気スイッチ

本レンジフードは建築基準法による住宅の常時換気を行う設備として使用できます。

調理やお手入れのときを除き、連続換気が出来ます。(風量は「弱」よりも少ない微弱モードで運転します。)

スイッチを押すと常時換気モードに設定されます。常時換気モードを解除するには3秒間押し続けます。

- 常時換気運転時(常時換気運転表示ランプが点灯)に^{弱 中 強}「_{入/切}運転」スイッチ(弱・中・強)を押すと、レンジフード運転に切替り、設定された風量で運転し続けます。運転スイッチを「切」状態または^{3分後切}「切」スイッチを押すと、常時換気運転に切替ります。

※レンジフード運転時に常時換気の設定/解除はできません。(レンジフード機能が優先されます。)

*専用調理器具と連動運転の場合も同様です。

照明

照明入/切スイッチ

押すと照明が点灯します。スイッチを押すたびに点灯/消灯を繰り返します。

弱 中 強

運転

入/切

運転・風量切替スイッチ

スイッチを押すたびに設定が変わり運転表示ランプが切替ります。但し「強」の次は「切」になります。「切」の表示ランプはありません。)



- 弱 : 煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
- 中 : 通常の運転のとき。
- 強 : 煙の多いとき。早く換気したいとき。
- 切 : 運転を停止したいとき。常時換気に戻したいとき。

常時換気モードに設定されている場合は、「切」にすると常時換気運転に戻ります。



レンジフード連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合

- 連動調理器具を着火すると、自動的にレンジフードは「中」運転を行います。
この状態からレンジフードのスイッチ(切、風量切替、照明)操作が行なえます。
- 調理器具を消火した時、レンジフードは自動的に3分後運転を停止しますが、照明や常時換気はもとのままの状態です。

- レンジフードの風量調節および照明の入/切などの操作を調理器具前面の操作パネルでも行えます。(詳細については調理器具の取扱説明書をご覧ください。)

専用調理器具については弊社までお問い合わせください。

お手入れのしかた

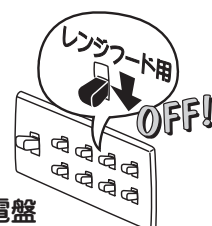
警告

- お手入れの際は、必ずレンジフードの 3分後切 切 スイッチを約3秒間押し続けてスイッチを「ロック」するが、分電盤のブレーカーを下げる(電源を切る)こと。(完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し続けてスイッチの「ロック」を解除してください。分電盤のブレーカーを上げて(電源を入れて)ください。)

本体操作スイッチ



3秒以上!



- ぬれた手でスイッチを入/切しないこと



感電やけがをすることがあります。

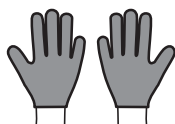
電源を切る

注意

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。



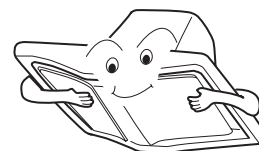
手袋をする



- 整流板や部品の取り付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります。



取付注意



- 調理直後の整流板は熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- こまめにお掃除してください。
特にフィルターは汚れやすいので1ヶ月に1度程度の頻度でお掃除してください。
油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
早めにお掃除いただきますと汚れも簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。
- シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉などは使用しないでください。
ツヤがなくなったり、変色や塗装や操作表示等のはがれの原因になります。
- アルカリ洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんなどの中性洗剤以外の洗剤のご使用はおやめください。
- 60℃以上の熱湯は使用しないでください。プラスチック部品が変形します。
- スイッチなどの電気部品には直接洗剤などをかけないでください。故障の原因になります。
- スロットフィルターは専用のものをご使用ください。一般市販品をご使用になりますと、通気抵抗が大きくなり、吸い込みが悪くなったり音が大きくなり故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
又、金属製以外のフィルターをご使用になると火災の原因となるおそれがありますので、これらの使用は絶対にやめてください。

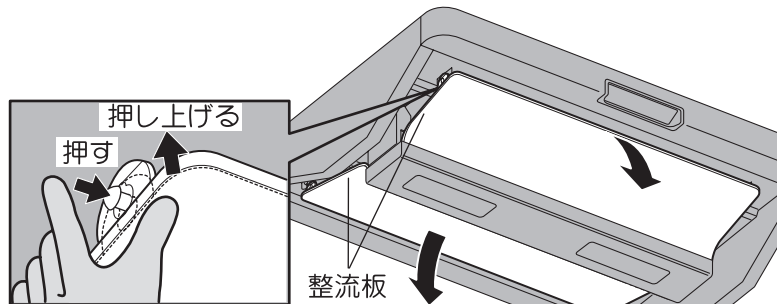


お手入れのしかた

分解のしかた

1 整流板をはずします。(前、後面2枚あります。)

整流板を左右から両手で支え、押し上げながら上部両角のストッパーを押し込み、手前へ取りはずします。



⚠ 注意

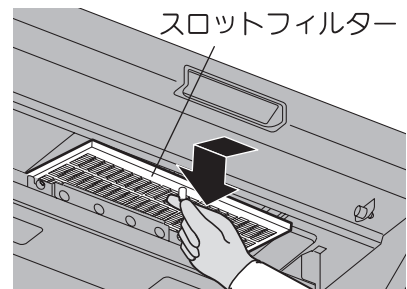


必ず守る

- 整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下するとケガをしたり、部品のキズ・変形の原因となります。

2 スロットフィルターをはずします。

スロットフィルターのつまみを持って、奥側へ押しながら下げてはずします。



3 センターカバーをはずします。

⚠ 注意



必ず守る

- 後面の整流板を必ずはずすこと
整流板をつけたままセンターカバーをはずすと、整流板が急にはずれ、思わぬケガをしたり、部品のキズ・変形の原因となります。

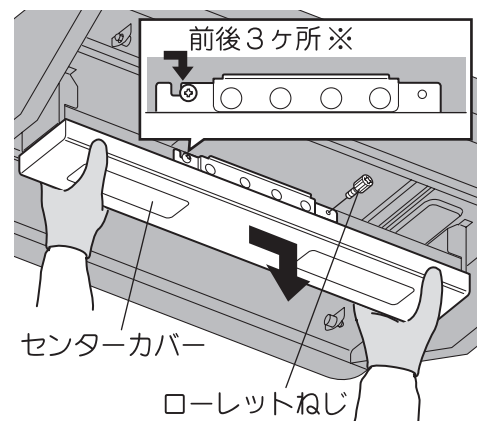
ご注意

取りはずす際は、中にたまった油をこぼさないように水平に持ち、ゆっくりとはずしてください。

特に冬期など気温の低い状況では結露水がたまりやすくなりますのでご注意ください。

- ① 正面(スイッチ側)のローレットねじをはずします。
※ ローレットねじはなくさないようにご注意ください。
- ② センターカバーを右へスライドさせながら下げて取りはずします。

※ 前後3ヶ所のフックで固定されていますが、カバーをスライドさせるとはずれます。ねじをはずす必要はありません。

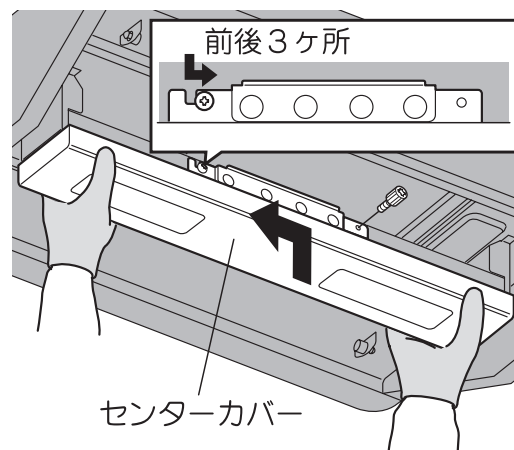


お手入れのしかた

組み立てのしかた

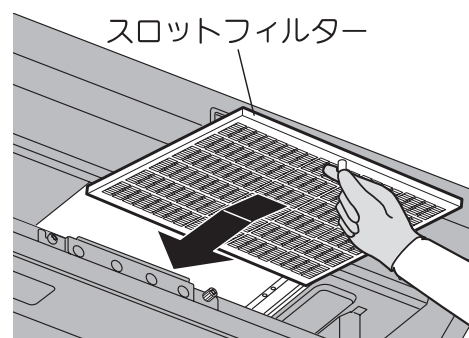
1 センターカバーを取り付けます。

- ① センターカバーのフック部分(3ヶ所)を本体のねじに差し込み、左へスライドさせます。
- ② ローレットねじを締めつけます。



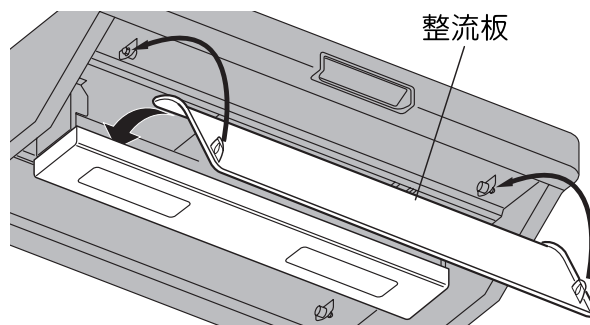
2 スロットフィルターを取り付けます。

- ① スロットフィルターの奥側下部を本体の板バネに押し付けながら取り付けます。



3 整流板を取り付けます。

- ① 整流板を左右から両手で支え、押し上げながら上部両角のストッパーにより固定されるまで押しこみます。



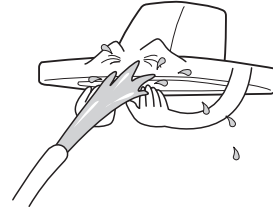
お手入れのしかた

警告

- 電気部品は水・洗剤等の液体につけたり、かけたりしないこと
発火したり感電することがあります。



水かけ禁止



ご注意

あまり汚れないうちに掃除してください。期間が長くなると、油が固まって汚れが落ちにくくなります。特にスロットフィルター・整流板、センターカバーは月に1回程度お掃除してください。

■ スロットフィルター

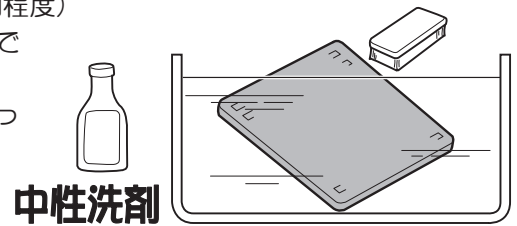
(汚れたらその都度お手入れしてください。目安: 1ヶ月に1回程度)

中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち金属以外のタワシなどで洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をとってから取り付けてください。

お願い

フィルターはこまめにお掃除してください。
目詰まりを放置すると、換気不良の原因となります。



中性洗剤

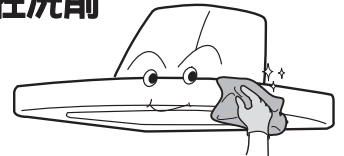
■ 本体

(汚れたらその都度お手入れしてください。目安: 1ヶ月に1回程度)

中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水で湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。



中性洗剤



■ 整流板

(汚れたらその都度お手入れしてください。目安: 1ヶ月に1回程度)

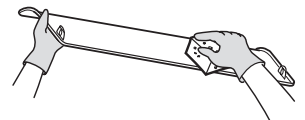
- 整流板の表裏面は水分を含ませたスポンジなどでふきとってください。
- がんこな汚れの場合は、台所用中性洗剤を浸したスポンジか柔らかい布などでふきとったあと、洗剤が残らないように乾いた布でよくふきとってください。

お願い

はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。(変形・傷の原因となります。)
また、親水性塗装のコーティングがはがれ、親水性塗装処理の効果が得られないおそれがあります。
※ 金属ブラシやタワシなどの固いものは、処理面を傷付けますので使用しないでください。
※ アルカリ性洗剤を使用しますと、変色のおそれがあります。



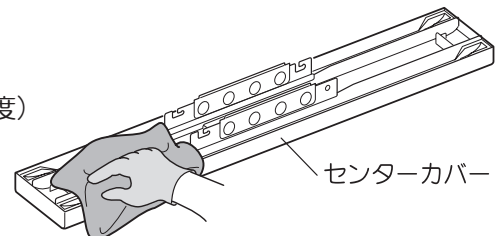
中性洗剤



■ センターカバー

(汚れたらその都度お手入れしてください。目安: 1ヶ月に1回程度)

センターカバーは本体に取り付けたまま、お手入れすることができます。内面などよりきれいに清掃する場合ははずしてお手入れをしてください。



センターカバー

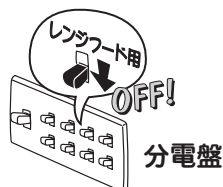
お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、市販のミニ電球 (定格 100 V 40 W・口金径 17 mm) を購入し交換してください。

警告

- ランプの交換は、本体の停止スイッチを「ピー」と音がするまで約3秒間押してスイッチを「ロック」状態にするか、分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる(電源を切る)こと



3秒以上!



- ぬれた手でスイッチを入/切しないこと
感電の恐れがあります。

- 電球の交換は、ランプカバーや電球が冷めた状態で行うこと
使用直後に行うと、やけどの原因となります。

注意



禁止

- 照明ボックス・センターカバー以外の場所をさわらない。
けがや故障の原因となります。



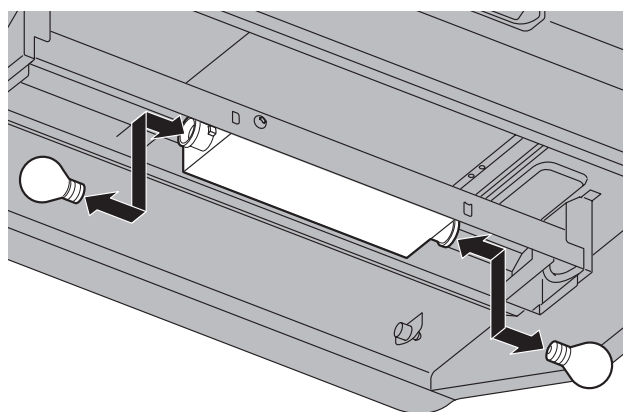
必ず守る

- 必ず 40 W 以下の電球を使用する。
やけどのおそれがあります。
発熱による故障の原因となります。
- 鋼板の切り口や角でけがをしないように厚手の手袋をする。

1 整流板とセンターカバーをはずします。
(11 ページの分解のしかたを参照してください。)

2 切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。

3 センターカバーと整流板を取り付けます。



※ 完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで 約3秒間押してスイッチの「ロック」を解除してください。
また分電盤のレンジフード専用のブレーカーを上げて(電源を入れて)ください。

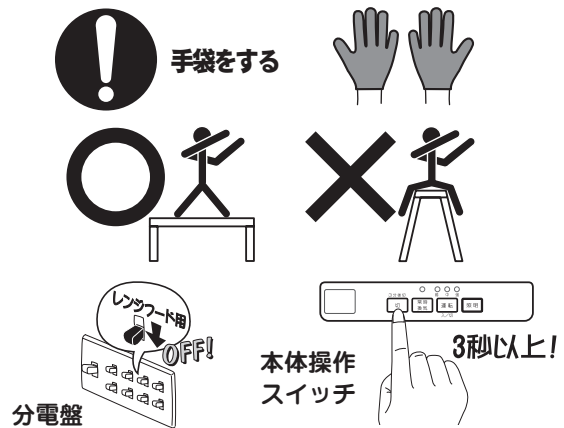
お手入れのしかた

ファンのお手入れのしかた

レンジフードを長期にお使いになり、汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順でお手入れを行ってください。

注意

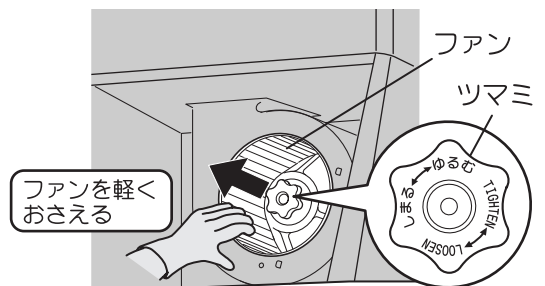
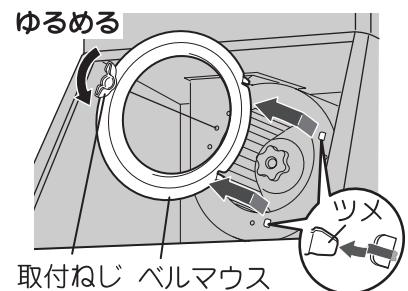
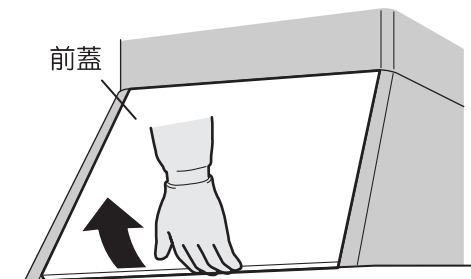
- 前蓋をはずしたり、取り付ける際は、必ず厚手のすべらないようなゴム手袋をすること
落下させ、けがをすることがあります。
- 前蓋をはずしたり、取り付ける作業は必ず、安定した台の上に乗って行うこと
バランスをくずして倒れ、けがをすることがあります。
- 本体の停止スイッチを「ピー」と音がするまで約3秒間押し続けてスイッチを「ロック」状態にするが、分電盤のレンジフード専用のブレーカーを下げる（電源を切る）こと



《ファンのはずしかた》

● サイドフード（壁面取付タイプ）の場合

- 1 前蓋をはずします。
前蓋は、上部のツメで、下部はローラーキャッチで取り付いています。
本体斜面部分の下側に指先を入れて引き上げ、前蓋を取りはずします。
- 2 ベルマウスをはずします。
ベルマウスの取付ねじ1か所を手で緩め、ベルマウスをスライドさせて右側2ヶ所のツメからはずします。
- 3 ファンをはずします。
ファンを押さえ、ツマミを「ゆるむ」の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。
※ ファンは軽くおさえてください。
強くおさえると変形することがあります。



お願い

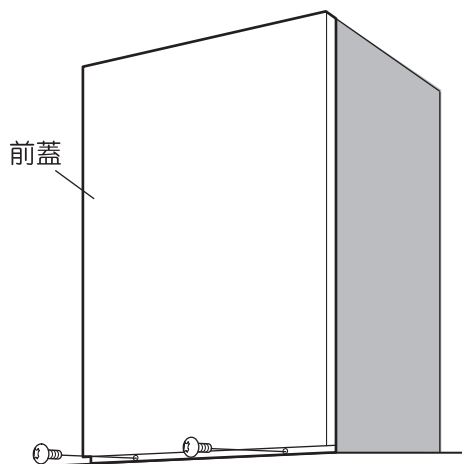
- ファンをぶつかけたり、落としたりして変形させないでください。異常な音や振動の原因となります。
- ファンの回転バランスをとるために、バランス（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。）



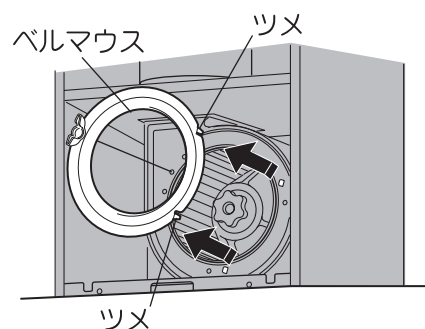
お手入れのしかた

● センターフード (天井取付タイプ) の場合

- 1 前蓋をはずします。
運転スイッチ面の本体前蓋下部のねじ2本をはずし、手前に引きながら上部2ヶ所のツメをはずし、前蓋をはずします。

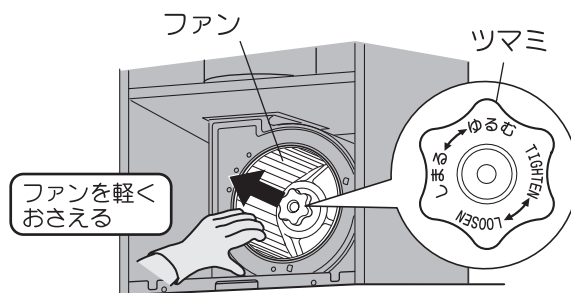


- 2 ベルマウスをはずします。
ベルマウスの取付ねじ1ヶ所を手で緩め、ベルマウスをスライドさせて右側2ヶ所のツメからはずします。



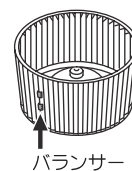
- 3 ファンをはずします。
ファンを押さえ、ツマミを「ゆるむ」の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。

※ ファンは軽くおさえてください。
強くおさえると変形することがあります。



お願い

- ファンをぶついたり、落としたりして変形させないでください。異常な音や振動の原因となります。
- ファンの回転バランスをとるために、バランスー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。）



《ファンの洗いかた》

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



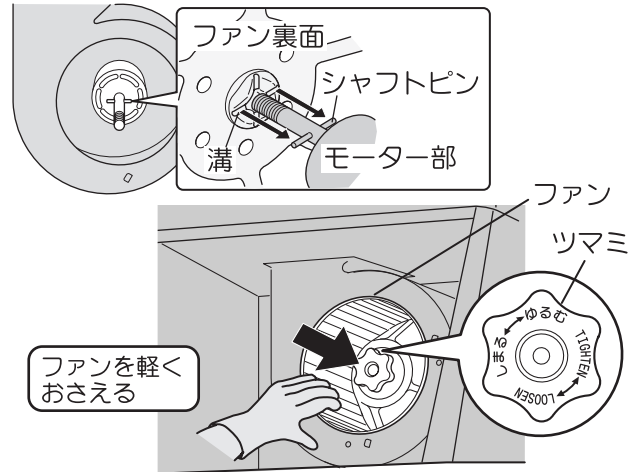
お手入れのしかた

《ファンの取り付けかた》

1 ファンを取り付けます。

- ① ファンを根元まで差し込んでください。
- ② ツマミを「しめる」の方向に回して締め付けてください。

※ ファンは軽くおさえてください。
強くおさえると変形することがあります。



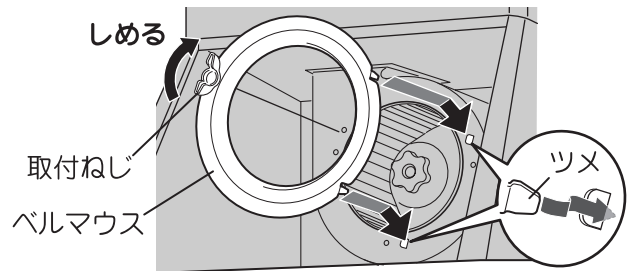
2 ベルマウスを取り付けます。

ベルマウスのツメ2か所を差し込み、取付ねじ1か所を締め付けてください。

ベルマウスを取り付けてから、ファンを手で回してこすれ音などが無いことを確認してください。

お願い

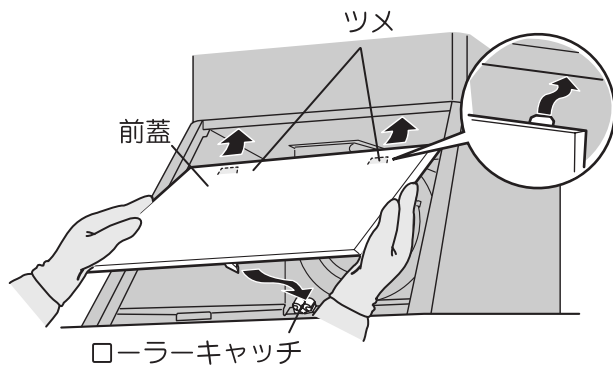
- ファン・ベルマウスは確実に奥まで差し込んでください。
(異音や破損の原因となります。)



3 前蓋を取り付けます。

サイドフード（壁面取付タイプ）の場合

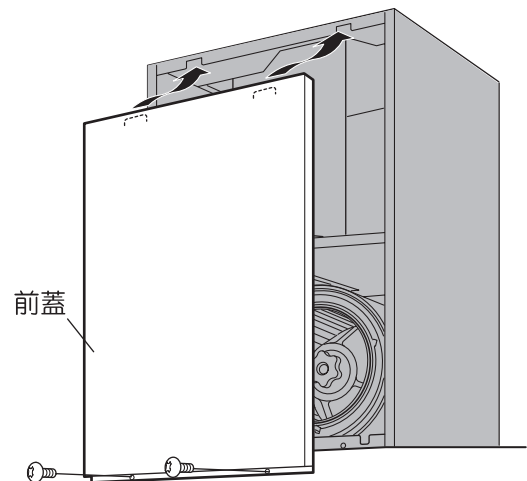
前蓋上部のツメを本体引っ掛け穴に引っ掛け、下部のローラーキャッチを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



※ 完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押し続けてスイッチの「ロック」を解除してください。
また分電盤のレンジフード専用のブレーカーを上げて（電源を入れて）ください。

センターフード（天井取付タイプ）の場合

前蓋上部のツメを本体の引っ掛け穴に引っ掛け、下部2ヶ所をねじで固定します。



故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

症 状

考えられる原因

処 置

- スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。
- ファンがまわらない。

- 分電盤のブレーカーが下がって(電源が切れて)いる。
- ロック状態になっている。
- 電源プラグがはずれている。

- 分電盤のブレーカーを上げる(電源を入れる)。
- ロックを解除する。(8ページ参照)
- 電源プラグを差し込む。

- 照明がつかない。

- 電球が切れている。
- 電球の取り付けが緩んでいる。

- 電球の交換をする。
- 電球を取り付け直す。(14ページ参照)

- 異常音がする。

- ファンのツマミが緩んでいる。
- ベルマウスの固定ねじが緩んでいる。
- フィルターが汚れている。
- 給気が十分でない。

- ファンのツマミを締め直す。(17ページ参照)
- ベルマウスの固定ねじを締め直す。(17ページ参照)
- フィルターを掃除する。(13ページ参照)
- 十分な給気を確保する。

- 吸い込みが悪い。

- フィルターが汚れている。
- 給気が十分でない。
- エアコンや窓からの風があたっている。

- フィルターを掃除する。(13ページ参照)
- 十分な給気を確保する。
- 風があたらないようにする。

- リモコンスイッチを操作しても動作しない。(別売リモコンを使用している場合)

- 電池が減っている。
- 電池の向きが間違っている。
- リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。
- ロック状態になっている。(ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。)

- 電池を交換する。
- 電池を正しく入れる。
- 発信部・受信部を掃除する。
- ロックを解除する。(8ページ参照)

- 運転が止まらない。

- 常時換気モードが設定されている。

- 常時換気モードを使用しない場合は設定を解除する。(9ページ参照)

仕様

モデル	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
					0 Pa	100 Pa	
サイドフード (壁面取付タイプ)	100	強	50	101	540	440	43
			60	107	500	430	42
		中	50	65	380	—	38
			60	67	330	—	36
センターフード (天井取付タイプ)		弱	50	31	180	—	26
			60	31	160	—	25
		常時 換気	50	18	115	—	18
			60	22	130	—	20

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C9603 による。

レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス (必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、このレンジフードファンの補修用性能部品を製造打切り後6年間保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

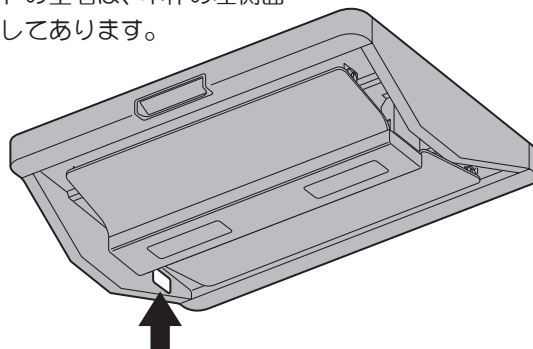
- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
 - (1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
 - (2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

修理を依頼されるときは

18ページに従ってお調べいただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ずブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	レンジフード
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

レンジフードの型名は、本体の左側面内側に表示してあります。



★長年ご使用の換気扇の点検を

愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。

ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

購入店名

電話 ()

ご購入年月日

平成 年 月 日

〔製造元〕

富士工業株式会社

〒229-0006 相模原市淵野辺2丁目1番9号
お客様ご相談窓口 ☎ 0120-071-686
受付時間 9:00~18:00
(土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)

この説明書は再生紙を使用しています。